

平成29年7月10日

関係者各位

北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち
センター長 今野正孝

平成29年度 発達障害者支援者研修会のご案内

「日本版 Vineland- II 適応行動尺度・^{SP} 感覚プロファイル研修会～基礎編～」

大暑の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配にあずかり、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当センターでは、北海道教育大学旭川校 教授 萩原 拓先生をお招きし、別紙の通り研修会を開催することといたしました。このたび刊行されました「日本版 Vineland- II 適応行動尺度」は、適応行動つまり、日常生活における行動の実際を、同年代の一般的な集団の中で評価をしていくものです。また、「^{SP} 感覚プロファイル」は、感覚の特性を客観的に把握するために使用されます。日常生活における困難の背景にある、感覚の問題を把握し、支援の視点を提供するものです。発達障害のある方の支援を行なうためには、日常生活の困難さを客観的に把握し、支援ニーズを明確にする必要があります。両尺度とも、今後、発達障害支援には欠かせない評価尺度となると考えられます。

ご多忙のことと存じますが、是非、ご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、より実践的な研修にするために、定員を40名といたしました。定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

平成 29 年度 発達障害者支援研修会

日本版 Vineland- II 適応行動尺度・ SP 感覚プロフィール研修会～基礎編～

発達障害のある方の支援を行なうためには、日常生活の困難さを客観的に把握し、支援ニーズを明確にする必要があります。日常生活における行動の実際を、同年代の一般的な集団の中で評価をしていく「日本版 Vineland- II 適応行動尺度」、感覚の特性を客観的に把握する「SP 感覚プロフィール」を活用することで、日常生活の困難さを把握し、より具体的な支援ニーズを把握することができます。本研修会は、「日本版 Vineland- II 適応行動尺度」「SP 感覚プロフィール」の具体的な活用方法を講義だけでなく、体験を通して学び、より多くの方に活用していただけるように企画いたしました。多くの方に活用していただくことで、発達障害者支援の充実に繋がっていきたいと考えています。

- 日時 平成 29 年 9 月 9 日(土)～10 日(日)
10:00～16:00 (受付は 9:30～)
- 場所 旭川市民文化会館 第 2 会議室
〒070-0037 旭川市 7 条通 9 丁目
- 定員 40 名
- 参加費 20,000 円
- 講師紹介

萩原 拓 氏 (Ph.D.(Special Education)、臨床発達心理士)

1998 年 カンザス大学教育学部特殊教育学科博士課程修了 博士

2004 年 米国カンザス大学教育学部特殊教育学科 非常勤講師

2006 年 北海道教育大学旭川校 特別支援教育分野 准教授

2014 年 現職

北海道教育大学旭川校 特別支援教育分野 教授

ライフステージを通じた、自閉症スペクトラム障害をはじめとする発達障害に関する研究、アセスメント、包括的支援、支援者・専門家養成に携わる。

～申し込み・問い合わせ～

〒078-8391

旭川市宮前 1 条 3 丁目 3 番 7 号 おびった 1 階

TEL : 0166-38-1001 FAX : 0166-38-1002

E-mail : kitanomachi@circus.ocn.ne.jp

発達障害者支援道北地域センターきたのまち